

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 20 | 今年度のグループホームおちあいの目標は「地域にでかけよう」としている。外出が苦手な職員も外出の仕方、アプローチの仕方など少しずつできるようになり、外出の機会は前年度より増えた。今後は、次のステップとして、「何のために外出するのか」「その効果はどうか」などを踏まえ、より個別に外出計画を立案し実施していくことが課題である。 | 個々の思いやニーズを日頃の会話や行動などから汲み取り、外出することで、五感への刺激や豊かな感情への想起であったり、残存機能の維持、あるいは潜在能力の再生を図ることを目的とした外出支援を行う。 | 1. 日頃の会話などの言動、行動等を観察し、気付いたことは記録に上げ情報を共有する。 2. その情報をもとに回想等を行い深く掘り下げてその気持ちを理解する。 3. 外出計画を立案するうえでも、しっかりとした目的をもった外出計画を作成する。 4. 外出実施後、入居者の細かな表情や言動、行動を振り返り情報を共有し、日々の暮らしの支援に活かす。 | 12ヶ月 |
| 1 | 23 | 現在ケアプラン、24Hシート、私の暮らし方シートの評価として半年に1度見直しを行なっているが、ペーパー上の評価であり、入居者一人ひとりがどのように暮らされ、その方の思いや意向等が達成できているかの評価はあまり行っていない | 入居者一人ひとりが、半年間、あるいは1年間どのような思いで過ごされ、その暮らしぶりはどうであったかを振り返り、次の目標に向けてのアセスメントを行うことで、よりその入居者に寄り添った支援を行う。 | 1. 24Hシート、私の暮らし方シートの見直しは今後も定期的実施する。 2. 書式の見直し 3. 居室担当者は日々の情報を基に振り返りや目標設定を行う。 4. 計画作成者はその目標を基にプランを立案しサービス提供へと繋げる | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。